

2018年1月9日

【故阿部正和先生と電気泳動学会】

阿部正和先生がご逝去されて早くも2年近い歳月が流れた。阿部先生と言っても現在の電気泳動学会の多くの会員の方々のご存じないかもしれない。

阿部先生は慈恵医大を昭和16年に卒業され、海軍軍医として終戦を迎えられた後、国立東京第2病院に内科医として勤務され、その後慈恵医大生理学教授、内科学教授、更に学長を歴任された。本学会創始者の一人である第2代会長平井秀松先生（北大教授）とは海軍軍医学校同期であった。平井先生が島尾和男先生とご一緒に東大生化学教室で日立製作所のTiselius電気泳動装置（HTA型）の試作に成功したのは昭和24年1月であったという。このHTA型の第3号機は慈恵医大生理学教室にも設置されタンパク質研究が行われた。しかしHTA型は大型であり、その後の1年間に装置の小型化が図られ、HTB型が市販されるようになった。HTB型電気泳動装置は凄い勢いで全国に普及し、血漿タンパク質研究に大きく貢献した。こうして同学の志が集まって昭和25年2月3日、「チゼリウス電気泳動に関する懇談会」が開催され、後に「蛋白泳動研究会」と名づけられた。これが現在の電気泳動学会の濫觴である。

阿部先生は海軍軍医学校時代に金井泉先生（名著「臨床検査提要」の著者）から臨床検査の薫陶を受け、血清タンパク質の臨床的意義の重要性を認識され電気泳動法に関心を持たれたという。Tiselius電気泳動法が大掛かりであることから、支持体に濾紙を用いる濾紙電気泳動法が昭和30年代になってから急速に普及するようになった。この方法には懸垂型と水平型があるが、阿部先生は専ら懸垂型を使用された。Tiselius法に比べて利点は、①試料が微量で済む、②装置、操作が簡単である、③複数の検体を同時に分析出来る、④タンパク質のみならず他の物質の分析にも応用できる、⑤泳動後分画成分を抽出できる、⑥試料を前処置する必要がない、などが挙げられた。こうした利点は現在繁用されているセア膜電気泳動にすべて共通するもので、当時としては画期的なことであり、これが臨床検査医学領域に果たした役割は大きい。昭和32年11月10日、第1回濾紙電気泳動シンポジウムが開催された。この記録は宮本璋（医歯大）、杉本良一（慈恵医大）両先生を編集者として同名の著書が文光堂より発行されている。このシンポジウム参加者として阿部、平井、島尾 諸先生その他、赤井貞彦（新潟大）、小林茂三郎（医歯大）、右田俊介（九大）、中村正二郎（山口大）、坂岸良克（医歯大）、土屋豊（順大）などの諸先生のお名前を見ることが出来る。この後分離効率の良いセア膜が濾紙に替わったのは周知の通りである。かくして一世代を画した濾紙電気泳動の時代は終わったのである。昭和44年開催された学会創立20周年

記念総会では平井総会長、阿部実行委員長のもと Tiselius 教授を招いて特別講演が行われた。このとき阿部先生は記念品として Tiselius の肖像メダルを作られた。

阿部先生の晩年は電気泳動学会に出席されることも少なくなり、医学教育、特に医師の生涯教育に力を注がれることが多かった。阿部先生の思い出を書くと筆は止まらない。ここに謹んで先生のご冥福をお祈りする。

橋本 信也
電気泳動学会名誉会員
元慈恵医大第3内科教授



MultiNA DNA/RNA分析用 マイクロチップ電気泳動装置

ゲル電気泳動の手間と目視判定を解消!

- わずか3ステップで最大108検体まで全自動分析
- 繰り返し使用可能なマイクロチップで実現した低い分析コスト
- 検体サイズに適した試薬キットによる高い分離能と再現性
- 蛍光検出を用いた 高感度検出-----エチジウムブロマイド不使用
- 電子化されたデータのため 管理が容易-----異なる分析日・多施設間比較が簡単



MultiNA サイト <http://www.an.shimadzu.co.jp/bio/mce/multina/index.htm>

株式会社 島津製作所 分析計測事業部 <http://www.an.shimadzu.co.jp/>

日本電気泳動学会企業会員

アドバンテック東洋 (株)

癸巳化成 (株)

コスモ・バイオ (株)

(株) 島津製作所

ナカライテスク (株)

(株) ナード研究所

日本エイドー (株)

バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)

(株) ヘレナ研究所

和光純薬工業 (株)

(株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン

シャープライフサイエンス (株)

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛に
お願いいたします。